

「覧会」臨時役員会議事録

日 時：2016年10月5日（水）16：00～17：30

場 所：「むつ新」

出席者：長谷川、飯田、山口、山崎、齊藤、亀村、小倉

欠席者：小松、葛城

（報告事項）

1. 同窓祭について

①同窓祭の総括について

（全体の評価など）

- ・当日は生憎の雨模様となったが、講演会には100名の聴講者が、展示会は150名の来場者があり、目標はほぼ達成できた。覧会のOB・OGも60名程が訪れた。
- ・講演会、展示会でアンケートを採ったが、評価は下記の結果となった。
講演会：86%（良かった以上）※聴講者100名、アンケート回収59名、回収率59%
展示会：90%（良かった以上）※来場者150名、アンケート回収47名、回収率31%
アンケート結果から両企画とも概ね高い評価を得たものと総括する。

※別添アンケート結果詳細

（成功したと思われる点）

- ・マニュアルがしっかりしていたため、準備がスムーズに運んだ。
- ・展示パネルを数多く集めたのは良かった。
- ・準備、運営ともにスタッフの一体感があった。

（反省すべき点）

- ・企画展開始後の運営について、細かい点を言えばマニュアル通りに進行していなかった。
- ・展示会の導線がはっきりしておらず、逆回りのお客様もいた。声掛けも不十分だった。
- ・責任者が働き手となっていた。
- ・写真について、賑わい場面やOB・OGの撮影が少なかった。（HP掲載を意識して）

（改善すべき点）

- ・講演会での音量は事前に調整する。
- ・展示会の導線については表示を明確にする。案内係はネームタグに「案内係」と明記する。
- ・マニュアル通りにいっているか最終チェックが必要である。
- ・そのため全体を管理する責任者が必要となる。

②収支報告について

- ・同窓祭関連費用は131,000円程度で、当初予算に当日会場の寄付や事前寄付を加え、ほぼ収支均衡の見込みである。

③その他

- ・来年度の同窓祭については、別途「2017 年同窓祭実行委員会」を発足させ具体的検討に入る。

(協議事項)

1. 古美術研究会への支援について

- ・昨年創立 50 周年時に古美術研究会への支援として約 10 万円相当の備品を贈呈したが、今後もより良いリレーションを構築するために毎年支援を継続していくこととする。
- ・贅会の収支を基に毎年贈呈額は変動するが、古美研の年間活動費の補助金として現金で支給する。
- ・用途は古美研役員会に委ね、1 年毎に報告を求めるものとする。
- ・今年度贈呈額は 5 万円とする。

以上

(文責：山崎)

次回役員会 2016年12月5日(月) 16:00～17:30 「むつ新」